社会科学習指導案

日　時　平成 22 年 9 月 24 日(金)　　第 2 校時
学　級　○○市立○○小学校　4 年○組　○○名
場　所　○○市立○○小学校　4 年○組
授業者　A8E13036　中村　雅臣

１．単元名「みんながついついコンビニに入ってしまうのはなぜだろう」

２．目標

（1）単元の目標

コンビニにはどんな商品があるのか、コンビニで働く人々はどんな仕事をしているのかを調べていくなかで、多くの人がコンビニを利用する理由を考える。そこにはコンビニで働く人々が消費者のニーズに合わせた工夫・努力をしているということに気づかせる。

（2）評価規準

ア．社会的な事象についての関心・意欲・態度	イ．社会的な思考・判断	ウ．観察・資料活用の技能・表現	エ．社会的な事象についての知識・理解
○販売に携わる人々の様子に関心を持ち、働く人々が販売・集客においてどんな工夫をしているかを意欲的に調べる。	○販売に携わる人々が消費者の願いに合わせて商品管理や宣伝などで工夫・努力していることを考えることができる。 ○販売に携わる人々、販売における工夫・努力と自分たちの生活との関係について気づく。	○販売に携わる人々の様子を観察・調査することができる。 ○資料のデータを正確に読み取り、ノートや新聞などにまとめたり、わかりやすく表現して発表したりすることができる。	○販売に携わる人々は消費者のことを考えて販売の工夫・努力をして利益を高めていることがわかる。 ○販売・消費を通して人とのつながりがあることがわかる。

３．単元について

本単元は学習指導要領の内容(2)「地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ､それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」(ア　地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること｡イ　地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などとのかかわり）に関する学習である。あらゆる場所に存在するコンビニは小学生でも利用する機会が多い。商品の単価がスーパー等に比べて高いのにも関わらず多くの人が利用をするのには消費者のニーズに合わせたサ

ービスの提供があるからである。コンビニでは商品の仕入れや管理、陳列などにさまざまな工夫がされている。その工夫を学ぶことで自分たちの暮らしとの関係についても考えることができる。

本学級は活発的な児童が多く、ひとつの問題に対してたくさんの意見が出てくる。自ら進んで質問をする児童も多く、社会科の授業では「なぜ」「どうして」という疑問を持って意欲的に問題に取り組んでいる。本校の近くにも複数のコンビニがあるため児童もコンビニをよく利用しているようである。児童の知識としてはコンビニが24時間営業であり商品の種類が豊富であるということは理解しているが、商品を販売するのにどんな工夫・努力がされているかについてはほとんど理解していない。しかし児童の実態から考えて、自分が良く利用するコンビニにはどんな秘密があるのだろうかという興味は持ちやすいと思われる。

以上のことから、今回の授業では児童の興味を引き出して、そこから生まれる疑問を学習に活かしていくことを意識していく。コンビニに人が集まるのにはどんな秘密が隠されているのか、その秘密を探る中でコンビニにおける工夫・努力を児童に気づかせたい。加えて、自分たちが消費者の一人としてどんなことを意識していくべきかについても考えさせたい。

４．指導計画(11時間扱い)

次	時	主な学習活動	評価規準
第一次	1	○自分の生活とコンビニとの関わりを考える。 ・家や学校の近くにはどれくらいコンビニがあるか。 ・どんな時にコンビニを利用するか。 ・コンビニについて知っていることを発表する。 ◎これは何のマークかな？（コンビニのロゴを提示）	ア．自分たちの生活とコンビニとの関わりについて関心を持つことができる。
	2 本時	○コンビニについて知る。 ・コンビニとは一体何なのか考える。（前時の復習を含める） ・コンビニクイズでコンビニの人気を知る。 ・どうしてみんなコンビニを利用するのか考える。 ◎家や学校の近くには5件のコンビニがありますね。じゃあ日本全国ではいったいどれくらいのコンビニがあると思いますか？ ◎コンビニは24時間営業ですね。じゃあ日本全国すべてのコンビニを合わせると1日の利用者は何人くらいいると思いますか？	ア．コンビニについて関心を持ち、意欲的に知ろうとする。 ウ．資料のデータを正確に読み取り、ノートにまとめることができる。
	3	○コンビニ見学の計画を立てる。（6班でグループ活動） ・コンビニではどんな工夫・努力がされているか予想を立てる。 ・コンビニ見学で調べてみたいことを考える。 ・見学時の注意点を話す。	イ．販売に携わる人々が販売・集客においてどんな工夫をしているか考えることができる。
	4	○コンビニ見学 ・商品の配置はどうなっているかメモ・写真で記録する。 ・店員さんの働く様子を見てどんな仕事があるか知る。	ウ．販売に携わる人々の様子を観察・調査することができる。

第二次	5	○コンビニの見取り図を作ってみる ・メモ・写真をもとに商品の配置などを模造紙に書き込む。 ・自分たちの予想と照らし合わせてみる。 ・新たにどんな工夫・努力がされているか予想をたててみる。	イ．販売に携わる人々が商品管理や宣伝などで工夫・努力していることを考えることができる。 ウ．見学したことをわかりやすく表現することができる。
	6	○中間発表（１グループ5分程度の簡単な発表） ・どんな予想をしたのか、どんな結果だったかを発表する。 ・他のグループの発表を聞いて参考にする。 ・店員さんに聞いてみたいことを挙げる。 ●質問用紙を作り、教師からコンビニへ回答を求める。	ウ．自分たちの意見をわかりやすく表現・発表することができる。
	7	○発表準備 ・質問の回答を参考に予想と結果をまとめる。 ・模造紙で発表用の用紙を作成する。	ウ．自分たちの予想と調査結果をわかりやすくまとめることができる。 エ．どんな工夫・努力がされていることを理解できる。
	8 9	○発表会（1グループ約10分） ・グループごとに発表を行う。 ・他のグループの発表でわかったこと、感想等を記入する。 ・その場で教師と児童（発表後のグループから1名）が感想を言う。	ウ．自分たちの意見、調査結果をわかりやすくまとめて表現・発表することができる。

第三次	10	○コンビニの工夫・努力について考える。 ・調査・発表を通してわかったことをまとめる。 ・児童から出なかった工夫・努力を補足	イ．あらためて販売に携わる人々の工夫・努力について考えることができる。 エ．販売に携わる人々は消費者のことを考えて販売の工夫・努力をして利益を高めていることがわかる。
	11	○コンビニ以外の販売業でも様々な工夫・努力がある事を知る。 ・コンビニと共通している工夫・努力を知る。 ・コンビニとは違う工夫・努力を知る。 ・消費者のことを考えた工夫・努力をしていることを知る。	イ．販売における工夫・努力と自分たちの生活との関係について気づく。 エ．販売・消費には人とのつながりがあることがわかる。

５．本時の学習(2／11 時間目)

（1） 本時の目標

・コンビニクイズでコンビニについての知識を増やし、興味・関心を持つ。

・データを正確に読み取り、その数字の大きさに驚く。

・コンビニが多くの人に利用されている理由を考える。

（2）評価規準

・授業（クイズ）へ積極的に参加して、コンビニへの関心を深め、コンビニについて意欲的に知ろうとする。

（ア．社会的な事象についての関心・意欲・態度）

・クイズや資料のデータを正確に読み取り、学習の参考にするためノートにまとめることができる。

（ウ．観察・資料活用の技能・表現）

（3）指導にあたっての準備

○コンビニクイズ

◎店舗数

◎利用者数

●売上・平均客単価

●商品構成比

○資料（コンビニエンスストア統計データ【社会法人日本フランチャイズチェーン協会】）

（4）展開

	学習活動	教師の指導	指導の留意点・評価
導入	○前時の振り返りをする。 ・家や学校の近くに5件のコンビニがある。 ・コンビニは24時間営業である。	○前時の振り返りを行う。 ・家や学校の近くに5件のコンビニがあること。 ・児童がコンビニについて知っていること。 ●セブンイレブンが午前7時～午後11時の営業だったことなどの情報を加える。	・前時の学習内容についてノートの見返しをして簡単に振り返る。
展開	○コンビニクイズ ・自分なりの予想を立てて答える。	○事象提示（コンビニクイズ） ・「家や学校の近くには5件のコンビニがありますね。じゃあ日本全国ではいったいどれくらいのコンビニがあると思いますか？」 ・「コンビニは24時間営業ですね。じゃあ日本全国すべてのコンビニを合わせると1日の利用者は何人くらいいると思いますか？」	・回答に対して「もっと多い」「もうちょっと少ない」と誘導していく。 ・日本で最初のコンビニはどこか。 ・どのコンビニが一番多いか。 （セブンイレブン） ・評価（ア）
	○コンビニに関するデータを資料で確認する。 ・それぞれのデータの値の大きさに驚く。 ・コンビニでは販売以外のサービス業も行っていることを知る。	○コンビニに関するデータを資料で確認させる。 ・コンビニクイズの答えをデータで示す ・「商品構成比」からコンビニでは様々なサービスが行われていることを示す。	・資料を提示する。 ・評価（ウ）
	コンビニがこれだけ発展しているのはなぜか考えよう。		
	○多くの人に利用される理由の予想を立てる。 ◎児童の考え（予想） ・いつでも買い物ができる。 ・家の近くにある。 ・いろいろなものを売っている。 ・買い物だけではなく他にもいろいろなサービスがある。（期待）	○予想を立てさせる。 ・資料のデータも参考にして考えるように促す。 ・なるべく多くの意見を聞き入れて、黒板に書き出す。	

	コンビニで働く人はどんな仕事（工夫・努力）をしているのか考えよう。		
まとめ	○次時で行うコンビニ見学の計画の下準備をする。 ・コンビニで働く人の工夫・努力について考える。	○グループ活動に入る前に自分の考え・予想を持たせておく。	評価（ア）
	○次時の学習の確認をする ・本時で学んだことをもとに自分の考えをまとめておく。	○次時の予告を行う。 ・本時の学習内容のおさらいをして、次時までに意見をまとめさせておく。 ・次時までにコンビニへ行ってみるように促す。	評価（ア）（ウ）